

金融広報アドバイザーとは、金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計の指導や金融・金銭教育などを行う金融広報活動の第一線指導者です。

## 金融広報 アドバイザーの 紹介

# 「日本の経済を良くしたい」「との思いから、 金融の基本」を伝える金融のプロ

高知県金融広報委員会  
金融広報アドバイザー  
**浦田健治**

「金融知識の普及を通じて日本経済を良くすること」が大きな目標であり、人生のライフワークでもあるという金融広報アドバイザーの浦田健治さん。

金融のプロとして、まずは、金融の基本を伝える講演で活躍しています。

\* \* \*

証券会社で20年、生命保険会社で5年勤めたのち、故郷の高知県でファイナンシャル・プランナー事務所を経営。現在は日本ファイナンシャル・プランナーズ協会の中国・四国ブロック長を務めるなどで活躍中の浦田さん。金融広報アドバイザーとしての活動では、主に将来の資産形成や運用、保険や相続などのライフプランに関するテーマを得意とされています。常に念頭にあるのは「金融知識の普及を通じて日本経済を良くする」という意識。金融知識の



「金融知識の普及を通じて日本経済を良くすること」が大きな目標であり、人生のライフワークでもあるという金融広報アドバイザーの浦田さん。金融のプロとして、まずは、金融の基本を伝える講演で活躍しています。

や重要性を多くの人に理解してもらいたいとの思いが、熱心な活動につながっています。

「これからの時代に人生設計は必須。日本経済にもっと危機感を持ち、国に頼らず自活する理解と覚悟、将来への活力となる資金を積み立てていくライフプランをアドバイザーとして、相談者の安心で幸せな未来に貢献しています」というのが、浦田さんの本領です。

啓蒙普及により、消費者が適切な経済行動をとることで日本の経済が良くなっていくのだ、という考えが金融広報アドバイザー活動のモチベーションになっていると言います。

「受講者の皆さんに私がまず伝えたいことは、金融の基本です。金融の仕組みを知ることがとても大切なんですよ。」

浦田さんによれば、金融の仕組みとは、資金余剰者（預金者・投

「その仕組みを理解していないと、投資の話は分かってもえませんが、社会的に役に立つ事業を行う企業が応援するのが投資であり、誰もがその金融の仕組みに参加し、日本経済を活性化させることができる、ということに気付いてもらうことが、私の役割だと考えています。」

正しい知識を持つことで資産運用へのアレルギーをなくし、健全な投資で日本経済に参加する意義

金融のプロという得意分野を活かし、金融広報アドバイザーとして活躍している浦田さんは、「アドバイザー同士も互いに得意分野を共有する勉強会の機会が増えたら、もっと素晴らしい金融広報活動ができる」と話します。そして、できるだけ若い世代に対して講演する機会を増やしていくことができれば、「日本の経済を良くすることにもっと貢献できる」と力を込めてお話しくださいました。